

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 eBASE株式会社

コード番号 3835 URL <http://www.ebase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 常包浩司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO

(氏名) 窪田勝康

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

TEL 06-6486-3955

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 1,320 | 5.8 | 160 | 76.6 | 166 | 56.5 | 99 | 61.8 |
| 24年3月期第2四半期 | 1,248 | 252.3 | 91 | 174.4 | 106 | 199.7 | 61 | 209.1 |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 99百万円 (61.4%) 24年3月期第2四半期 61百万円 (205.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 6,842.94 | 6,842.47 |
| 24年3月期第2四半期 | 4,217.04 | 4,217.04 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 1,758 | 1,306 | 73.9 | 89,732.57 |
| 24年3月期 | 1,539 | 1,248 | 80.7 | 85,789.63 |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,299百万円 24年3月期 1,242百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | 2,900.00 | 2,900.00 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 2,900.00 | 2,900.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,800 | 5.4 | 346 | 9.7 | 350 | 1.9 | 210 | 3.0 | 14,498.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 25年3月期2Q | 14,739 株 | 24年3月期 | 14,739 株 |
|----------|----------|--------|----------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-------|--------|-------|
| 25年3月期2Q | 255 株 | 24年3月期 | 255 株 |
|----------|-------|--------|-------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 25年3月期2Q | 14,484 株 | 24年3月期2Q | 14,530 株 |
|----------|----------|----------|----------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 1 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景とし緩やかに持ち直しているものの、欧州の債務危機を背景とした世界的な景気減速や円高の長期化、更に電気料金の値上げや消費税増税問題等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

情報サービス分野では、企業の情報化取り組み姿勢にやや積極性が見えるようになってきたものの、引き続き厳しい事業環境が続いております。一方、業界の動向としてクラウド(ASP/SaaS)等の安価なサービスへの期待感が広がっております。

このような経営環境の下、当社グループは、社会の緊急課題である「商品の安全・安心」に対する企業間における商品情報交換プラットフォームとして業界毎に商品情報交換の業界全体最適化を目指し、「食品業界/FOODS eBASE」、「生活関連業界/GOODS eBASE(アパレル、日雑、化粧品等、食品系以外)」、「環境・グリーン調達関連業界/GREEN eBASE(家電、情報機器、自動車等)」向けのパッケージソリューションを継続的に開発提供するとともに、顧客別にカスタマイズしたコンテンツマネジメントソフトの開発環境である「eBASE ミドルウェア」の開発提供にも努めております。また、連結子会社eBASE-PLUS(株)ではIT派遣ビジネスの推進強化やeBASEソリューション関連ビジネスの推進に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,320,662千円(前年同四半期比71,999千円増)、営業利益160,873千円(前年同四半期比69,769千円増)、経常利益166,809千円(前年同四半期比60,216千円増)、四半期純利益99,113千円(前年同四半期比37,839千円増)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

(イ) eBASE事業

[食品業界向けビジネス (FOODS eBASE)]

食の安全情報交換の全体最適化を図りながら「FOODS eBASE」の拡販を推進しました。また、標準化と機能強化を継続し、利便性向上による無償ユーザーの大幅増を図り、有償ソフトの拡販と既存ユーザーのクロスセル・アップセルの実現に努めました。開発の取り組みとしては、営業向け商品情報開示機能(eB-FWS)の開発を行いました。これにより、主力の食品業界向けビジネス(FOODS eBASE)は、企業間における商品情報交換プラットフォームとしてのニーズは底堅く継続しております。eBASE商品情報交換の普及に伴い、「FOODS eBASE」の採用や社内他システムとの「FOODS eBASE」連携事例の増加による継続受注案件が増加している状況となりました。また、クラウド&ストックビジネスでは、既存のサポートビジネスは順調に推移しました。この結果、売上高は計画比で微増となり、前年同四半期比でも増加となりました。

[環境・グリーン調達向け (GREEN eBASE)]

「GREEN eBASE」の情報収集機能の必然性を証明し拡販を推進しました。また、機能強化を継続すると共に国内外における無償ユーザーの増加や情報収集標準化の推進を図り、REACH規則対応での有償ソフトの拡販に努めました。欧州の化学物質規制であるREACH規則対応策としての市場拡大を期待しておりましたが、欧州の債務危機や家電不況による影響を受ける状況となりました。この結果、売上高は計画比で微減となるも前年同四半期比では大幅な増加となりました。

[他商品DBのミドルウェア (GOODS eBASE)]

業界別パッケージソフトを容易に開発してきたeBASE開発環境を利用し、顧客別にカスタマイズした商品DBソフトの開発販売を推進しました。なかでも特化した業界(工具業界、電材業界、検査業界、等)への攻略アプローチを継続して取り組みました。また、開発の取り組みとしては、スマートフォン対応や電子ブック連携の機能強化を継続して行いました。これらの要因により顧客別にカスタマイズした商品DBソフトの開発販売は予想以上に順調に推移しております。この結果、売上高は、計画比及び前年同四半期比で大幅な増加となりました。

[他商品DB以外のミドルウェア]

受託開発案件の受注促進を推進し、パートナー企業の開拓や基幹系サブシステムの受注に努めました。開発の取り組みといたしまして、熟練した開発者でなくても短納期で開発できるようにeBASEノンプログラミング開発環境の機能強化を継続して取り組みました。しかし、食品業界向けビジネス「FOODS eBASE」や他商品DBのミドルウェア「GOODS eBASE」が順調なことから、計画的に注力を抑える状況にあります。この結果、売上高は、計画比では大幅な減少となりましたが、前年度後半期より立ち上げたビジネスのため、前年同四半期比では大幅な増加となりました。

これら重点事業領域に適合した製品開発をタイムリーに行うために積極的に開発投資を行いました。結果、当社グループ製品の利用者は、累計で8万ユーザー超(平成24年9月末日現在)となり、商品情報交換の標準プラットフォームとして業界毎に商品情報交換の業界全体最適化の普及、標準化は順調に進行しております。

この結果、eBASE事業の売上高は、489,659千円(前年同四半期比104,796千円増)、経常利益129,928千円(前年同四半期比85,822千円増)となりました。

(ロ) eBASE-PLUS事業

既存IT派遣ビジネスでの顧客ニーズの迅速な把握と対応による案件獲得に注力し、稼働率向上と安定を図りました。また、「eBASEソリューションビジネス」としてeBASE事業のミドルウェアビジネスとの相乗効果ビジネスの創造を継続して推進しました。コスト面では、業務効率向上策を継続して推進しております。既存の人材派遣ビジネスは概ね計画どおりに推移し、eBASEソリューションビジネスの方で親会社との内部取引が増加しております。これにより売上高は、計画比で微増となりましたが、前年同四半期比では受注減や人員減により微減となりました。

この結果、eBASE-PLUS事業の売上高は、857,446千円（前年同四半期比7,353千円減）、経常利益37,758千円（前年同四半期比24,771千円減）となりました。

なお、今年度後半期よりeBASE事業でのIT派遣ビジネスをeBASE-PLUS事業に移管します。これによる損益に与える影響につきましては、既に計画に織り込んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第2四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ、219,345千円増加し1,758,828千円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金が61,490千円減少した一方で、現金及び預金が63,912千円、長期預金が200,000千円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、161,013千円増加し451,864千円となりました。主な要因は未払法人税等が46,047千円減少した一方で、未払金が183,395千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、58,331千円増加し1,306,964千円となりました。これは主に、配当金の支払を42,003千円行った一方で、四半期純利益を99,113千円計上したことにより利益剰余金が増加したこと等によるものであります。これにより自己資本比率は73.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更ございません。

※ 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 729,175 | 793,088 |
| 受取手形及び売掛金 | 487,910 | 426,420 |
| 仕掛品 | 4,198 | 14,207 |
| その他 | 16,714 | 14,168 |
| 貸倒引当金 | △2,941 | — |
| 流動資産合計 | 1,235,057 | 1,247,884 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 11,996 | 14,693 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 55,343 | 47,964 |
| その他 | 1,498 | 1,859 |
| 無形固定資産合計 | 56,841 | 49,823 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 205,026 | 217,409 |
| 長期預金 | — | 200,000 |
| その他 | 31,436 | 29,893 |
| 貸倒引当金 | △875 | △875 |
| 投資その他の資産合計 | 235,587 | 446,427 |
| 固定資産合計 | 304,425 | 510,944 |
| 資産合計 | 1,539,483 | 1,758,828 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,545 | 21,519 |
| 未払法人税等 | 106,428 | 60,380 |
| 未払金 | 93,417 | 276,812 |
| その他 | 84,547 | 92,406 |
| 流動負債合計 | 289,938 | 451,118 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 911 | 745 |
| 固定負債合計 | 911 | 745 |
| 負債合計 | 290,850 | 451,864 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 190,349 | 190,349 |
| 資本剰余金 | 162,849 | 162,849 |
| 利益剰余金 | 937,723 | 994,832 |
| 自己株式 | △48,344 | △48,344 |
| 株主資本合計 | 1,242,576 | 1,299,686 |
| 新株予約権 | 1,858 | 2,724 |
| 少数株主持分 | 4,196 | 4,553 |
| 純資産合計 | 1,248,632 | 1,306,964 |
| 負債純資産合計 | 1,539,483 | 1,758,828 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 1,248,662 | 1,320,662 |
| 売上原価 | 772,850 | 767,812 |
| 売上総利益 | 475,811 | 552,849 |
| 販売費及び一般管理費 | 384,707 | 391,975 |
| 営業利益 | 91,104 | 160,873 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,820 | 1,563 |
| 消費税等簡易課税差額収入 | 12,729 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 657 | 2,941 |
| その他 | 300 | 1,438 |
| 営業外収益合計 | 15,507 | 5,943 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 18 | 8 |
| 営業外費用合計 | 18 | 8 |
| 経常利益 | 106,592 | 166,809 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券償還損 | — | 4,639 |
| 特別損失合計 | — | 4,639 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 106,592 | 162,169 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 45,070 | 58,600 |
| 法人税等調整額 | △98 | 4,099 |
| 法人税等合計 | 44,971 | 62,699 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 61,620 | 99,469 |
| 少数株主利益 | 347 | 356 |
| 四半期純利益 | 61,273 | 99,113 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 61,620 | 99,469 |
| その他の包括利益 | | |
| その他の包括利益合計 | — | — |
| 四半期包括利益 | 61,620 | 99,469 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 61,273 | 99,113 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 347 | 356 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。